



東村山市子ども読書活動推進計画

第2次（平成22年度～26年度）

進捗状況報告④ 『きょういく東村山』より

『学校図書館専任司書』の配置



学校図書館専任司書配置事業の位置付け

学校図書館は、様々な人のかかわりの中で運営されています。司書教諭、図書館担当教諭を中心に、図書委員の児童・生徒、地域や保護者の図書ボランティアの方々によって整備され、教育委員会指導室、学務課、市立図書館などの関連部署が支援しています。

この度、学校図書館活用を更に充実させるために、後期（10月中旬）から市立小・中学校図書館に「学校図書館専任司書」が配置されました。

「東村山市子ども読書活動推進計画」を策定する時に、市民の方から一番多く寄せられたのは、「学校図書館に司書を配置してほしい」という要望でした。当計画の重点事業として、配置実現への検討を続けてきましたが、今年度から「東村山市第四次総合計画」における実施計画事業として位置付け、実施することになりました。

配置体制

1校につき、週2日、1日5時間ですが、12名の学校司書が配置され、各校で少しずつ児童・生徒の読書推進のために動き出したところです。

学校司書の仕事は、司書教諭等と連携して学校図書館に必要な本を整え、子どもや教員が本を探したり、調べたりするのをサポートすることです。昼休みなどの開館時間はもちろん、授業の中で、教員と共に図書館の活用の仕方を説明したり、本の紹介をしたりします。

配置に先立ち、1カ月間、中央図書館や学校図書館で研修を行いました。その時に、「チーム東村山・学校司書」として、情報を共有し、全校の学

校図書館の充実に努めることを確認しました。中央図書館が拠点となって、各校の学校司書からの様々な問い合わせや依頼に対応するために、学校司書のうち2名は担当校の他、週2日中央図書館に勤務し、市立図書館司書と共に学校図書館を支援するという形を取っています。

学校司書始動！

学校司書がいると、子ども達が気軽に「何かおもしろい本ない？」と声をかけたり、「給食に出たししゃもについて調べたい」などと質問する姿も見られ、以前より学校図書館に足を運ぶ回数が増えたようです。また、学校司書が授業の中で、図書館の分類の仕組みを助言したり、調べ方を覚えるための「図書館クイズ」を行ったりしています。

まだ配置が始まったばかりで不十分な点が多いと思いますが、「チーム東村山・学校司書」が活躍できるように学校図書館にかかわる様々な人達との連携を深め、より楽しく、役に立つ学校図書館を目指していきますので、どうぞご期待ください。

『きょういく東村山』第65号より

平成23年12月15日号

編集・発行 東村山市教育委員会